令和3年度市川三郷町第2次総合戦略

総合戦略検証委員会中間検証結果
(令和3年11月18開催)

令和3年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	検証委員	検証委員意見・評価等
新規	地場産業体験ツアー事業 (商工観光課 商工係) 【概要】 県内外の方に、町の地場産品、特産品をPRしていくために、JR東海と連携しツアーを企画し情報発信を行っていく。 コロナの影響により収穫祭等が中止になり今年度、28回/年のイベント企画が現在1ツアーのみ実施済み。 ツアー募集方法は、JRビューツアーに掲載。 【数値目標】 ・ツアー開催を7回実施/年 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・1回:努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・JR東日本ツアーズにて地場産業体験ツアーを募集しているが、コロナ禍により応募がなく、これまでの実績は1回となっている。来年3月までツアーの募集があり、コロナ終息とともに強力に周知していく。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	D	○コロナ禍で大変だと思うがPRの仕方、開催数を増やせるといいと思います。 ○楽しいツアーだと思うので広がって欲しいです。 ○ネットでの広報周知なので、一般の人はあまり知らないと思うので、ネットだけでなく、色々な周知方法を考えて欲しいです。 ○アナウンスの仕方をJRツアーズにだけ頼るのではなく、発信の仕方に工夫をすべき。町の魅力の発信とともに進めていただきたい。 ○県外にPRする事が少し難しさがあるのかと感じました。PRの工夫を期待します。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	A	○ツアーの周知方法(PR・情報発信)について工夫が必要。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		○企画の取り扱いを大幅に他旅行会社にもPRしてもらおう。
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		○コロナの影響があったため、来年に期待します。
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		○周知の仕方、方法が課題かと思えます。

令和3年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等	
継続	空き店舗チャレンジショップ事業 (商工観光課 商工係) 【概要】 ・町内の空き店舗の情報提供を行い、若者など熱意のある人に起業の機会を与え空き家・空き店舗の有効活用と起業支援を行う。町HPの空き店舗バンク情報を活用し周知・募集し希望者に、県の補助事業と併せての最大100万円の助成をし起業支援していく。 今年度は、市川地区で1件の申請があり、現在審査中です。 【数値目標】 ・空き店舗チャレンジショップ補助金申請件数：1件 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・1件：順調(目標値以上) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・町内空き店舗に新規チャレンジショップの申請を受け付けた。店舗の改修後、補助金の支給となる。課題としては、空き店舗はあるものの住宅と併設しており、なかなか貸し手の協力が得られない。今後の検討課題である。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○補助金プラス家賃の折衝もしてもらえるとありがたいと思います。 ○県から上限100万円補助があるということは、行政にとっても依頼者にとっても良いことだと思う。今後も現状以上に県とのパイプをつないでいっていただきたい。 ○店舗と住宅が兼ねている課題があり、登録数をどう増やすか手立てを考える必要がある。ターゲットをどこにするかでアナウンスの仕方もかわってくると思う。 ○熱意のある人に起業の機会を与えられる為の補助金制度は良いと思います。 ○創業・事業拡大の案件であれば地域の金融機関や商工会等と連携して事業化を進めて欲しい。 ○空き店舗の活用は町の活性化につながるため、今後も取り組みをお願いします。 ○大変難しい事業であると感じます。	
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)			
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)			
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。			
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。			
		今後の方向性		A 事業拡充(さらに発展させるべき)		A
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)			
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)			
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)			

令和3年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全体 検証 評価 委員	検証委員意見・評価等
新規	生涯学習センター活用事業 (生涯学習課 生涯学習係) 【概要】 ・令和2年1月に開館の市川三郷町生涯学習センターを利用した販わいづくり創出のため、施設の利用頻度を高める取り組みを行う。しかし直後にコロナの影響を受け、利用制限となり予定事業がほとんど中止となってしまった。山梨県生涯学習センター、びゅあ峡南とのタイアップ事業を開催。9月末現在で約12,000人が利用。順調にいけば目標の15,000人はクリアできる。 【数値目標】 ・年間延べ利用者数：15,000人／年 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・12,238人：概ね順調(80%以上100%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・町主催の各種事業は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、計画通りに開催できていない。 定期利用など一般の利用については、当初の計画を上回っている。今後も感染状況をみながら開催を検討していく。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	B	○新しい施設なので様々な取り組みにチャレンジして欲しいと思います。イベントや大会などが多く行われるようになると町の活性化にはなるはずですが。 ○コロナの影響で計画通りできなかったのは分かるが、今後はリモートなどで開催していただきたい。(人数制限にて) ○今後、Withコロナの時代。事業の更なる拡充を期待します。 ○コロナ感染拡大による開催制限がかかっていて残念ですが、終息する事を願い利用者数増を期待します。 ○地域資源を活用した魅力あるイベント等を町が主体となって企画し、集客を図ることを期待します。 ○利用者が目標値以上に期待できるため今後もイベント企画をしてもらい集客に努めて欲しい。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	C	
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和3年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
継続	地域おこし協力隊事業 (政策秘書課 企画係) 【概要】 ・都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として地域で生活し、住民の生活支援、地域活性化、移住・定住支援など各種の地域活動に従事しながら、定住・定着を図る。 現在3人の隊員が活動。年度内には2名が任期を終える予定。 【数値目標】 ・地域おこし協力隊員1名の確保 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・隊員の確保はまだないが、9件の問い合わせがあった。：努力が必要(80%未満) 【年度末までの活動内容や課題等】 ・昨年度に引き続きコロナ禍での募集となっている。課題としては、問い合わせはあるが、隊員の受け入れ先と隊員希望者とのマッチングに難しい面があり採用まで至らない状況。現段階では、首都圏へのフェア等への参加は厳しい状況なので、引き続きHPでの募集を続け、問い合わせがあれば丁寧に対応していきたい。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	C	○引き続き進めて欲しいと思います。 ○地域活性化にどのように結びつけるかということも検討すべきだと思います。 ○採用に繋がらないという事がネックだが、なかなか受け入れ側と隊員双方の希望が一致するのは難しいと感じた。 ○支援機関とのマッチングが課題。計画的な確保を進めることも必要となってくるとされる。 ○魅力のあるホームページ等でPRし、意欲のある人の応募があり町が活性化することを期待します。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	C	○支援機関の拡充を図り、移住・定住希望者の選択の幅を広げてほしい。 ○地域の活性化を目的とし、移住してくれる人々が多くなるといいと思う。住めば都といいますので。 ○希望者のニーズに合った受け皿を増やすことが必要だと思います。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		

令和3年度市川三郷町第2次総合戦略中間検証

区分	事業名 (担当課)	評価項目	評価基準	全 体 評 価 員	検証委員意見・評価等
新規	六郷IC周辺活性化事業 (政策秘書課 企画係) 【概要】 ・中部横断自動車道が全線開通し、六郷ICの活性化に寄与できる施設等の整備を検討し、第2次総合計画内の重点プロジェクトとして挙げられる「にぎわい」創出を推進していく。農工団地跡地の活用、遊休農地について民間企業と協働・協力する中で、経費削減を念頭におき民間資金を活用した整備を目指す。 【数値目標】 ・大手デベロッパーと事業にかかる基本合意を交わす。:企業との基本合意及び住民説明会の開催 【中間実績・担当評価(10/1現在)】 ・実績なし 【年度末までの活動内容や課題等】 ・平成29年度よりデベロッパーやコンサルなどと協議を進めているが、未だ具体的な方針が出せない状況。しかしながら、今年度に入り企業誘致に向けた開発の話をいただいている。	事業の進捗状況	A KPIの達成に向けて事業が推進され、十分な効果があった。(良好)	D	○雇用を創出できれば、もちろん良いですが、なかなか難しいようです。長く続く企業や事業、町に貢献してくれる用途を目指してもらいたいです。 ○中部横断道が開通したので誘致を地権者と話し合い企業誘致に向けて活性化できればいいと思います。 ○段階を踏みながら進めて頂きたい。良い成果が出ることを期待しています。 ○周辺の遊休地の活用を期待します。 ○雇用を創出する企業誘致を期待します。
			B KPIの達成に向けて事業が推進され、相当程度の成果があった。(概ね良好)		
			C KPIの達成に向けて事業が推進されたが、成果が不十分であった。(必ずしも良好とは言えない)		
			D KPIの達成に向けて今後の事業の推進を期待する。		
			E KPIの達成に向けての事業推進が不十分である。		
		今後の方向性	A 事業拡充(さらに発展させるべき)	C	○気がかりであった事業。可能性があることを知り安心している。地域住民の雇用が進むことを願います。 ○地元の雇用に繋がるような方向性が良いと思います。
			B 事業改善(内容を見直し取り組むべき)		
			C 事業継続(現状どおり今後も取り組むべき)		
			D 事業廃止(地方創生に効果がなかったことから、事業をやめるべき)		